

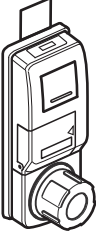
事前にこの取付説明書をよく読んでから取付手順通りに作業してください。

⚠ 注 意

本機を正しく施工していただく為以下の注意事項を必ずお守りください。

- ・扉部屋外側の製品設置面の汚れを取り除いてください。
- ・作業中は扉が閉まらない様、必ず半分ほど開けた解錠状態で固定して作業を始めてください。
- ・電動ドライバー等は締め付け過ぎやネジ穴のつぶれ等の原因となりますので、使用しないでください。

部品構成



Fe-Lock Light 本体



アルカリ 9V 角型電池
※本体装填済



接続金具



調整ワッシャー
5 枚



開閉シール 2 枚



M4×10 取付ビス 各 2 本



M4×12 取付ビス 各 2 本



M4×15 取付ビス 各 2 本



登録済利用カード (青) 1 枚



登録カード (赤) 1 枚

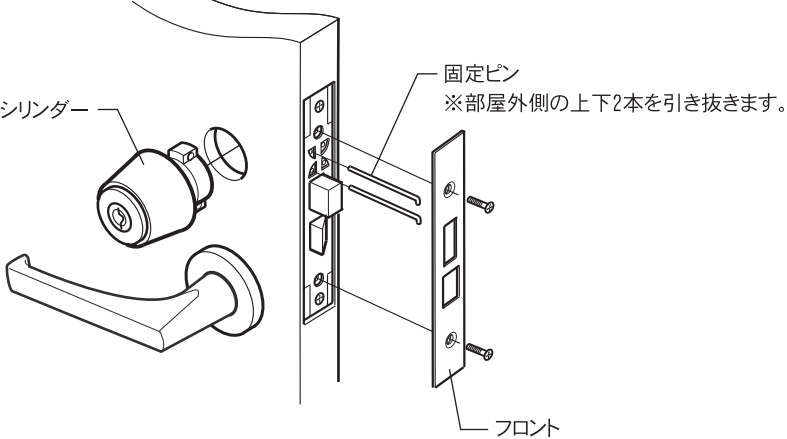


未登録利用カード (青) 2 枚

※付属の電池はテスト用電池ですので使用期間が短い場合があります。出来るだけ早めに新しい電池に交換してください。

1 シリンダーを外す

フロントを外し、シリンダー(部屋外)側の固定ピンを引き抜き、シリンダーを外します。



シリンダー

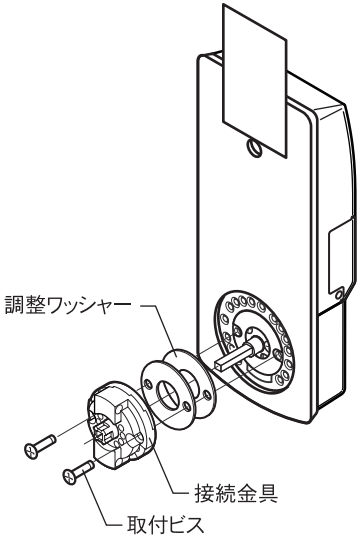
固定ピン
※部屋外側の上下2本を引き抜きます。

フロント

※シリンダー取り外し後、必ず扉面をきれいに（清掃）してください。扉面に汚れ・油 分など残っている場合、粘着力が低下し本体が固定されない場合がございます。

2 扉厚調整をする

扉厚を計測し、扉厚に合わせ扉厚対応表を参照し調整ワッシャーの枚数と取付ビスの長さ確認し接続金具と調整ワッシャーを取付ビスで Fe-Lock Light 本体に取り付けます。



調整ワッシャー

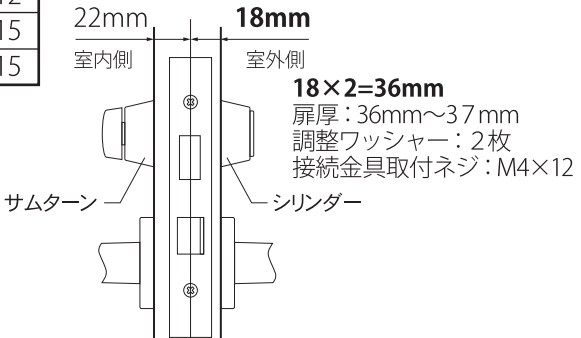
接続金具

取付ビス

■扉厚対応表		
扉 厚	調整ワッシャー	取付ビス
32～33mm	0枚	M4×10
34～35mm	1枚	M4×12
36～37mm	2枚	M4×12
38～39mm	3枚	M4×12
40～41mm	4枚	M4×15
42～43mm	5枚	M4×15

扉厚計測のご注意

扉厚対応表は、錠ケースが扉内の中心に設置されている状態での組付位置となります。錠ケースがずれている場合は、錠ケースの中心から室外側扉面を計測し、計測した数値に2を掛けた値で、扉厚対応表を参照し接続金具ベースと接続金具を組付てください。



22mm 室内側

18mm 室外側

18×2=36mm
扉厚：36mm～37mm
調整ワッシャー：2枚
接続金具取付ネジ：M4×12

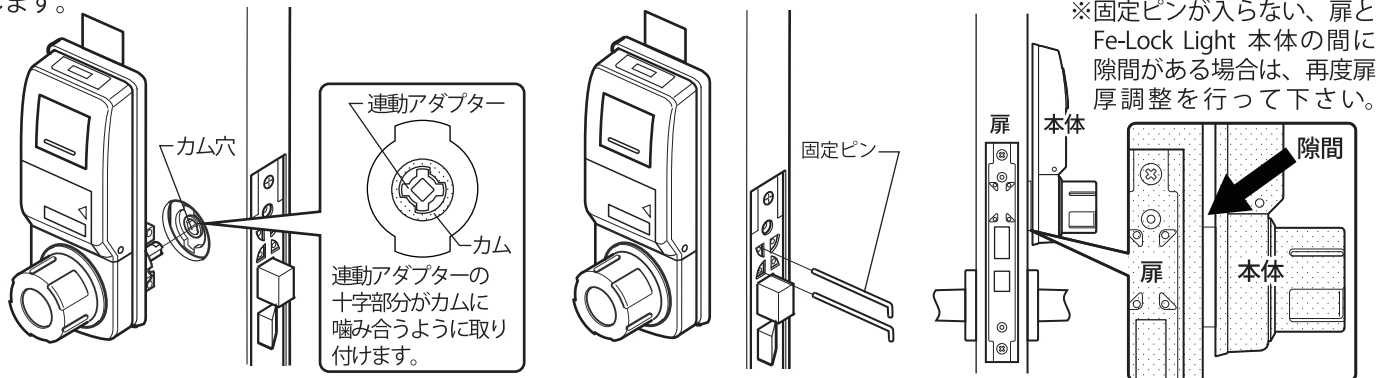
サムターン

シリンダー

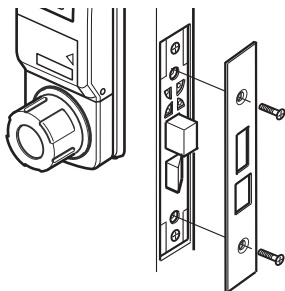
3 Fe-Lock Light本体を仮付けする

Fe-Lock Light 本体連動アダプターを錠ケースのカム穴に入る様に、角度を合わせながら仮付けします。

固定ピンを錠ケースに差し込みます。



フロントを取り付けます。



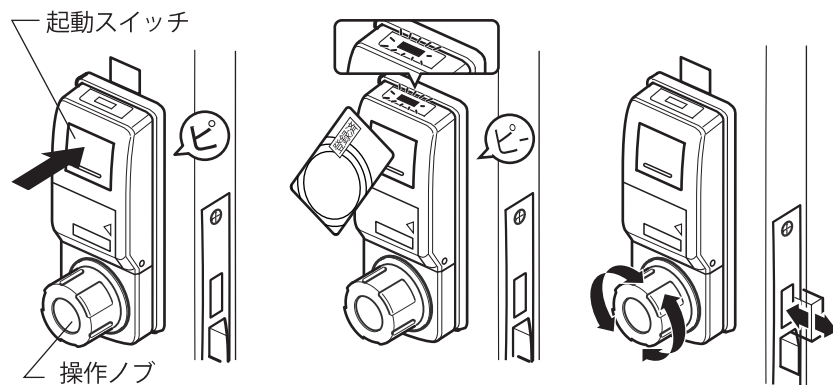
4 動作を確認する

登録済みで利用カードを当てデッドボルトが動作する事を確認します。

Fe-Lock Light 本体の起動スイッチを押します。

登録済みで利用カードを起動スイッチ中心に当てます。

操作ノブを回し、デッドボルトが連動する事を表示ランプが緑に点灯します。確認下さい。

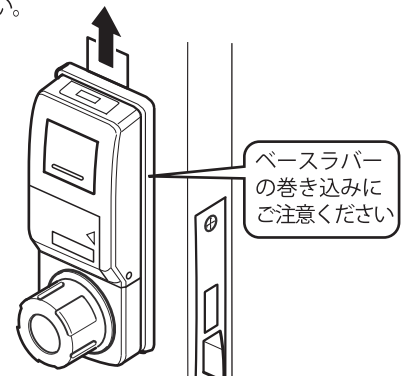


※カードを当ててから 5 秒後に連動は解除されます。

5 Fe-Lock Light本体を固定する

Fe-Lock Light 本体にズレがない事を確認し両面テープの剥離紙を上から引き抜き、Fe-Lock Light 本体を扉面に押し付け固定します。

※操作ノブの回転が重い場合は本体のズレが考えられます。※故障の原因となりますので起動スイッチは押し付けしないでください。



6 開閉シールを貼る

Fe-Lock Light 本体に開閉シールを貼り付けます。

操作ノブを回し施錠する(デッドボルトが出る)方向を確認します。※開閉シールには左右方向がございます。

操作ノブを回し施錠する(デッドボルトが出る)方向にCLOSEの矢印が向くように開閉シールを貼り付けます。

